

第1回辰野町入札等審査委員会次第（会議録）

平成23年12月14日（水）

午後 2時00分 ～

役場第7・8会議室

1. 開 会

（事務局）

第1回辰野町入札等審査委員会を開催します。

2. 副町長あいさつ

任期は2年ということで、要綱によると委員会は年3回ぐらいで10回開催し、中身の濃い委員会になったと思います。2年間の内には最低制限価格の導入、小規模工事登録制度の導入、本店支店との関係等論議をいただき、また新たな2年間がスタートであります。今の経済的な状況を見ると、業者の皆さんが非常に苦勞していること、また町の方でも工事関係も厳しい状況にある中で、できるだけ地域の活性化を図りながら業者が伸びるような入札制度でありたいと思います。

3. 正副委員長の選出

（委員長）

委員長を2年間やらせていただきましたが、交替することも大事なことです。形骸化を無くす意味では心機一転していただいて、副委員長を委員長にどうでしょうか。

新委員長・・・中村委員

新副委員長・・・川村委員

4. 委員長あいさつ

（委員長）

副町長の話にもありましたように、この委員会は微妙な部分もあり、国で言えば国益、町で言えば町の利益であり、町の利益というのは納税者の利益と同

時に企業の育成も大事であることから、委員会として中立的に両方を加味していきながら判断していかなければならないと思います。

5. 協議事項

(1) 平成23年度第3四半期に係る入札経過

(事務局)

9月～11月までの入札経過を確認。

○一般競争入札 落札率平均 → 90.9%

○指名競争入札 // → 88.1%

○競争による見積(随意契約) 落札率平均 → 89.8%

(委員)

各工事は担当課で担当するのか、まちづくり政策課で担当するのか。

(事務局)

実際の業務の内容等は担当課になり、入札事務に関するもののみまちづくり政策課で担当します。

随意契約の範囲は、数社の競争による見積と1者のみの場合とあります。

(委員)

パークホテルのマイクロバスも指定管理で施設の一部ということで町が買って貸与するのか。

(事務局)

無償貸与です。かやぶきの館も同じです。燃料費や車検代、保険等は指定管理者にお願いしてあります。50万円以上の修繕等は町で対応しています。

(2) 平成24年度以降に係る入札改正案

(事務局)

たたき台の提示

案① 支店の厳格化

客観的に判断することは難しい。

ひとつの基準として法人税分割基準を3名以上としたこともあり常駐の基準によることは難しいと思います。

案② 新客観点数

町独自の点数を付す。

独自の点数を付した場合に、既に本店、支店との間にかかなりの点数のひらきがあり、相当な点数を付してあげなければ追いつかないと思われ
ます。こちらの採用も難しいと思います。

案③ 総合評価落札方式

市になると採用も多いが、町村では採用自体少ない。

価格 + 品質（価格以外） → 得点化 → 最高得点者が落札

町の工事で技術提案を求めることは難しいですが、除雪協力や災害協
力などある程度工事と関連付けをしながら、金額面で総合評価落札方式
を採用するのかどうかの境界を設けたいと考えます。

価格の配点は、町で定める。

価格以外の配点が難しい。

本店だけにかたよる配点方法はできない。

(委員)

価格以外の配点を変更するとは。

(事務局)

工事内容により、配点を変更することです。

複雑な工事であれば、その時に提案した内容を評価してあげるなど、そうい
った価格以外のいろいろな要素を加味してあげることで価格以外の配点を選択
することです。

(委員)

価格以外の配点は入札の前に出すのか。

(事務局)

事前にお知らせします。

(委員)

第3者が見たときにハッキリ分かる基準が良いのでは。

(事務局)

本日を以って、方向性を出したいと考えますが、総合評価を導入していくことで良いでしょうか。今後どのような評価項目を設けていくか検討が必要です。

(委員)

工事成績は成績のない業者に不利になるのでは。

(事務局)

町では工事成績を付けることができないため、県の成績を利用したい。確かな実績が必要であると思います。

いろいろな仕事をしてきた中で良い仕事をする業者が、評価として良い成績評価（工事成績）となります。良い仕事をする業者が価格だけでなく、自分の実績を踏まえたうえで落札者となれるというところがこの総合評価のうま味ではないかと思しますので、そういった部分も生かしてあげることも必要だと考えます。

(委員)

応札者数を確保するための配慮も必要だと思います。また地元に貢献している業者にも何点か付すことに意味があるので、この制度は良いと思います。

工事实績はさじ加減にもよるので、町独自で定めて良いのではないのでしょうか。

(事務局)

いくら以上の工事から総合評価を適用させるのか検討が必要です。

(委員)

大きい業者が小さい工事に参加できないようにすることも必要ではないか。

(事務局)

除雪、災害協定は評価できると思います。

次回の委員会までにある程度の評価項目を提案いたします。

(3) その他

(委員)

50万円未満の小規模工事もう少し増やして欲しい。

(事務局)

各課に伝えます。

(事務局)

次回1月末までには開催します。

6. 閉会

(事務局)

第1回辰野町入札等審査委員会終わり。